

**「阪神新地域ビジョンの骨子案のイメージ（案）」などに関する  
検討委員のご意見**

委員名	意見趣旨	対応状況
谷口委員	【第2章】阪神地域特有の社会潮流についてテクノロジーの進化と多様な働き方の実現によって、大阪や神戸のベッドタウンという特性が変化していく可能性があると思う。	第2章（3）②に加筆しました。
	【第4章】シナリオテーマの過不足について障害者の社会参画に関するテーマが必要だと思う。または、シナリオ③に加筆する。	第4章（3）シナリオ③に加筆しました。
	【第4章】特性として記載すべき内容 たくさんの大学（創造人材、若者）の存在が、阪神地域の特性であり強みだと考える。 全体的に、大学と企業、行政、市民等の連携促進を強調すると良いと思う。	第4章（3）シナリオ②に加筆しました。

委員名	意見趣旨	対応状況
	<p><b>【第4章】重視するシナリオ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>④ゆとりある暮らし</li> <li>⑧充実した暮らし</li> <li>⑪文化芸術</li> <li>⑫文化芸術</li> <li>⑳多文化共生</li> <li>㉓社会参画</li> <li>㉔地域振興・ツーリズム</li> </ul> <p>上記シナリオをつなぐと、下記のようなストーリーが生まれる。</p> <p>1、ICT や AI の活用によって多様な働き方やゆとりある暮らしを実現する。</p> <p>2、大学、企業、行政、市民の連携によって、歴史文化を活かした地域振興を図る。</p> <p>3、その活動に多様な人々（女性、子ども、障害者、外国人など）が参画し、地域コミュニティの共創が実現する。</p>	<p>第4章（2）に加筆しました。</p>
	<p><b>【第5章】子どもや関心のない人々との共有方法</b></p> <p>多様な人々が参加できる「文化芸術的アプローチ」が重要である。例えば芸術祭、音楽祭、アートフリーマーケット、アートボランティア、趣味サークルなど、市民参加型のアートイベントが有効である。</p>	<p>第5章に検討内容として加筆しました。</p>